

学校における新型コロナウイルス感染症対策について

伊東市立大池小学校

いつ	どのように	なぜ
登校時	<ul style="list-style-type: none"> 校門を入る際にマスク着用を確認する。 7:50 玄関開錠 →児童一人一人に検温してきたかどうかを確認する。 →検温していない児童はその場で検温する。 ※7:50 前に登校した児童は、一定間隔を保って並んで待つ。(並ぶ目安を目印で示す。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の受け入れ態勢を整えるため、開錠時刻を7:50に設定する。 ○まずは校内にウイルスを持ち込まないことを念頭に対処するため、発熱の有無を確認する。
登校後	<ul style="list-style-type: none"> 担任は、児童が教室へ入る前に手洗い、手指消毒をさせる。※アルコール過敏の児童は手洗いのみで可とする。 マスク着用の確認。(ガーゼマスク可。マスクがない児童にはクラス用マスクを渡し、後日新しいマスクを返してもらう。) 担任は、登校した児童の健康チェックカードをすぐに回収・点検する。 <検温していない児童、チェックカードを忘れた児童> <ul style="list-style-type: none"> ○保健室へ行き、検温した後教室へ向かう。 <風邪症状のある児童> <ul style="list-style-type: none"> ○原則として早退とする。 <ul style="list-style-type: none"> ※判断に迷ったら保健室に相談する。 ※朝から不調を訴えている場合には早めに早退させる。 ○帰りの支度をさせて第2保健室へ向かわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上記同様、まずはウイルスの持ち込みを防ぐため、入室前に手洗い、消毒を行う。 ○校内では常時マスクをすることを習慣づけ、感染症の蔓延を防ぐ態勢を整える。 ※朝運動は、児童の様子、学校の態勢を考え合わせ、実施可能と校長が判断した段階で開始する。
集 会	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会について、体育館では行わず運動場で実施するか、校内放送を使う。 学年単位で集まる場合は、十分な広さの場所を使うこと、短時間で行うことに留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年を越えた感染リスクを軽減するため、多学年多人数が交流する機会は極力避ける。
朝の会	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察を丁寧に行い、健康観察カードに記入する。 <input type="checkbox"/>咳、発熱、だるさ、息苦しさ、風邪症状の有無をチェック <input type="checkbox"/>ハンカチ・ティッシュ持参のチェック 飛沫感染のリスクが高いことから朝の歌は「なし」とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での健康チェックとのダブルチェックで、感染蔓延を防ぐための水際対策を確実に行う。
授 業	<ul style="list-style-type: none"> 授業者は、開始前に健康観察とマスク着用を確認する。 教室の換気を徹底する。 →エアコン稼働中を含めて、2方向の窓を同時に開ける。 机は原則前向きとする。対面となるグループ活動については、十分な距離をとった上で短時間にとどめる。 教科ごとの指導上注意すべき内容の詳細については、「新しい学校の生活様式」を参照して行う。 <ul style="list-style-type: none"> ※接触を伴う活動、飛沫が飛ぶ活動は行わない。 ※体育を行う際には、熱中症防止のため、十分な距離を確保した上で、マスクを外して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も、感染リスクレベルが高まった場合にも実施可能かつ継続可能な方法を模索する。 ※よりよい方法があれば、変更することも視野に入れながら実施していく。 ○感染リスクの軽減を図りながら、学力の向上や学習内容の定着を目指す。ただし、感染症の蔓延防止の措置は徹底する。

いつ	どのように	なぜ
<p>休み時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中休み 15 分、昼休み 15 分とし、それ以外の業間を 10 分（午後 5 分）とする。 ・中休み、昼休みに運動場へ出られる学年を制限（2 学年）し、密集を防ぐ。 ・感染リスク軽減のため、遊びの内容を制限する。 ※鬼ごっこ、ドッジボールは× ・流しやトイレの前には一定距離の目印を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○休み時間を長く設定し、トイレや流しの使用を分散させる。 ○日常生活の中で、児童がソーシャルディスタンスを意識できるようにする。
<p>給食</p>	<p>【給食前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 全員が手洗い後、手指消毒を行う。 <input type="checkbox"/> 児童、教員は必ずエプロン・マスクを着用する。 <input type="checkbox"/> 担任は、給食当番に風邪症状がないか、手洗いや消毒を行ったかをチェックし、給食当番の氏名とともにカードに記入する。 <p>【配膳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 室内の密集を避けるため、学級の人数によっては、多目的室を使う。 <input type="checkbox"/> トレー、食器、はし、スプーン等は使い捨て手袋をして配る。 <input type="checkbox"/> その他の主食・主菜・副菜（汁物）は、器具を使い配る。 <input type="checkbox"/> 配膳が難しいものについては教員が担当する。 <input type="checkbox"/> 少なめに盛り付ける。 <input type="checkbox"/> 牛乳や個包装のゼリーは、自分の分は自分でとる。 <input type="checkbox"/> 一度配膳したものは減らさない。 <input type="checkbox"/> おかわりは教員が配る。 <p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 前を向いて、おしゃべりせずに食べる。 <input type="checkbox"/> 食べ終わったらマスクをする。 <p>【食後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 牛乳パックは、中身がないことを確認し、折りたたんで袋に入れ、密封する。 <input type="checkbox"/> 給食終了後、手を洗う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活において、<u>給食の時間が最も感染リスクが高い</u>ことを念頭に置いて指導する。 ○万一感染が判明した場合に備え、感染経路を追うための手がかりとして当番の氏名を残しておく。 ○感染リスクを抑えるため、一度配膳した食器からは回収しない。→少なめに盛り付ける ○牛乳パックに残った牛乳からの感染リスクを抑えるため、管理を丁寧に行う。
<p>掃除</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除の前後に手洗いを行う。 ・1, 2 年生は掃除を行わない。→教室は上級生が担当 ・教室（低学年教室を含む）、特別教室、廊下や階段の掃除は、3 年生以上が分担して行う。 ・拭き掃除は行わず、掃き掃除のみとする。 ※担任が定期的に掃除機をかけて清潔を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○低学年は少人数での掃除が難しく、密集が避けられないことから掃除をしない。
<p>下校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会終了後～5 分後に荻方面児童、その後吉田方面児童が下校する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○玄関付近での密集を防ぐ。
<p>放課後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が分担して、多くの児童が触れる場所を消毒する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一日一回は消毒作業を行い、ウイルスの増殖を抑える。